

事業番号	事務事業名	ふれあい収集事業				所管課名	循環型社会推進課	所属長名	高田 克彦			
	方向性	1	くらしを守る				係・グループ名	資源循環推進係				
	重点施策	5	豊かな自然を次世代につなぐ				根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、甘日市ふれあい収集実施要綱 甘日市廃棄物の減量の推進及び適正処理並びに生活環境の清潔保持に関する条例				
	施策方針	1	環境保全活動の推進				基本事業					
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	01	事業1	事業2	経・臨	予算上の事業名
	一般会計		衛生費		清掃費		清掃総務費	003	51	経常		循環型社会推進事業(政策)

1 事務事業の概要

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・高齢や障がいなどにより、ごみステーションまで家庭ごみの持ち出しが困難な世帯のために、戸別収集を実施し、衛生的な環境を維持する。	・令和2年4月から ・家庭ごみの有料化に伴いごみ処理に関する市民サービスの拡充を図る。

2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

主な活動内容	活動指標(活動の規模)	単位	区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
ふれあい収集の申請受付、審査 ふれあい収集の制度の周知	→ ア ふれあい収集実施世帯数	世帯	目標 実績		170 101	170 193	293	-
	→ イ HP、出前講座などでの制度の周知	回	目標 実績		5 9	5 3	5	5
	→ ウ		目標 実績					
対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の規模)	単位	区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
高齢や障がいなどにより、家庭ごみをごみステーションまで持ち出すことが困難であり、地域住民からごみの排出協力が得られない世帯	→ ア 対象世帯数	世帯	見込 実績		3,000 -	3,000 -	3,000 -	3,000
	→ イ	世帯	見込 実績					
	→ ウ	千円	見込 実績					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)	成果指標(意図の達成度)	単位	区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
高齢や障がいなどにより、ごみステーションまで家庭ごみの持ち出しが困難な世帯が、安心してごみ出しができています	→ ア まちづくり市民アンケートの「介護保険サービスなど高齢者や家族の生活を支える高齢者福祉サービス」満足度		目標 実績		3.00 3.03	3.10 3.05	3.10	3.10
	→ イ まちづくり市民アンケートの「障がい者の自立支援や福祉サービスなど障がい者が地域で安心して暮らすための環境づくり」満足度		目標 実績		3.00 2.99	3.00 2.99	3.00	3.00
	→ ウ	t/年	目標 実績					
結果(結びつく施策の意図は何か)	施策の成果指標	単位	区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
資源やエネルギーが循環する持続可能な社会で暮らす	→ ア リサイクル率	%	目標 実績		11.7 11.6	15.0 11.2	18.0	21.0
	→ イ		目標 実績					

3 事務事業の予算・コスト概要

年度	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	前年度比	令和4年度(予算)
事業費(A) (円)			1,815,000	4,038,960	2,223,960	7,984,000
財源内訳	国庫支出金				0	
	県支出金				0	
	市債				0	
	その他特財				0	
	一般財源	0	0	1,815,000	4,038,960	2,223,960
業務延べ時間 (時間)			400	400	0	
人件費(B) (円)	0	0	1,724,000	1,756,000	32,000	0
トータルコスト(A+B)			3,539,000	5,794,960	2,255,960	7,984,000
主な支出項目		令和3年度決算		備考		
収集委託料		4,038,960	円	家庭ごみの戸別収集等業務		
			円			
			円			
			円			

事業番号	事務事業名	ふれあい収集事業	所管課名	循環型社会推進課
------	-------	----------	------	----------

4 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。 ・高齢化や核家族化の進行、地域コミュニティの希薄化により、一人暮らしの高齢者や障がい者の持ち出しが困難になっている世帯が増加している。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 ・広報、HPや分別アプリなどを通じた制度の周知	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。 ・対象世帯について、柔軟な対応ができないか。 ・委託料の積算基準の明確化 ・出前講座などを通じて、制度の周知を図るべきではないか。
--	--	--

5 事業評価(令和 3 年度決算の評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	・ごみの適正処理が推進され、環境の保全につながる。 ・希望者に対しては声かけを行い、安否確認を行うことは安全・安心なまちづくりにも有効である。
	② 市が関与する妥当性(この事業は市が行わなければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せることはできないか。)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	・高齢や障がいなど、家庭ごみをごみステーションまで持ち出すことが困難且つ、地域住民などの協力が得られない世帯を対象としており妥当である。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	・身体的な事由等により、ごみステーションまでごみを持ち出すことが困難な世帯の廃棄物の適正処理を支援することから、妥当である。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	・福祉関係部署と連携を図るなど、真に必要なとする世帯への制度の周知を行う。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	・ごみの排出が困難となり、衛生的な生活環境で暮らすことが困難となる。	
⑥ 類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)			
<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	・類似事業はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	・今後、高齢化が進む中で対象者は増加するものと考えており、事業費は増加することが見込まれる。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	・申請世帯は増加しており、サービスを必要とする世帯の審査やごみを排出する際の注意事項など説明するため人員は必要である。 ・収集業務、声かけなどは民間事業者へ委託し実施している。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	・高齢者、障がい者など、ごみの排出が困難であり、家族や地域の協力が得られないか、基準を設けて、審査を行っており公平である。

6 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地有り	・今後、高齢化が進むことや在宅で福祉サービスが定着することで、ニーズは増加していくことが見込まれるが、衛生的な環境を維持していくためには充実していくべき事業である。 ・HP、出前講座等で制度の周知を図る。																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地有り																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 改善の余地有り																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地有り																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 改革改善案による成果・コストの期待効果																							
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了	今後の改革改善案 ・真に必要な人にサービスが提供できるよう、福祉部局や福祉関係事業者とも連携をして、制度を周知する。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止、完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			△		低下			×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上			○																					
	維持			△																					
	低下			×																					
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									

事業番号	事務事業名	リサイクル講座開催事業				所管課名	生活環境部はつかいちエネルギークリーンセンター	所属長名	中田 真二				
	方向性	1	くらしを守る			係・グループ名							
	重点施策	5	豊かな自然を次世代につなぐ			根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
	施策方針	1	環境保全活動の推進			基本事業							
予算科目	会計	01	款	04	項	02	1	01	事業1	事業2	経・臨	予算上の事業名	
	一般会計		衛生費		清掃費		清掃総務費	003	51	経常		循環型社会推進事業(政策)	

1 事務事業の概要

①事業期間	②事業内容(事業概要を簡潔に記載。期間限定複数年度は全体の事業計画を記載)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	・外部講師によるリサイクル啓発のための講座 ・対象者は原則として廿日市市民 ・講座の開催回数は月1～2回	・平成13年4月 リサイクルプラザ供用開始 ・平成13年度から講座を開催 ・令和3年度からはつかいちエネルギークリーンセンターにて講座を継続

2 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

主な活動内容	活動指標(活動の規模)	単位	区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
→ 廃棄物関連施設等での講座の開催	ア 講座開催回数	回	目標 実績	78 64	78 38	40 5	24	24
	イ		目標 実績					
	ウ		目標 実績					
対象(誰、何を対象にしているのか)	対象指標(対象の規模)	単位	区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
→ 講座参加者	ア 参加者数	人	見込 実績	624 378	624 252	200 8	120	120
	イ		見込 実績					
	ウ		見込 実績					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)	成果指標(意図の達成度)	単位	区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
→ 講座参加者のリサイクル意識の向上	ア 参加者のリサイクルに関心を高めた割合	%	目標 実績			- -	80	80
	イ		目標 実績					
	ウ		目標 実績					
結果(結びつく施策の意図は何か)	施策の成果指標	単位	区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
→ ゴミ減量化の推進	ア ごみのリサイクル率	%	目標 実績			15.0 11.7	18.0	21.0
	イ 一人1日平均ごみ排出量	g/人・日	目標 実績			584 621	578	572

3 事務事業の予算・コスト概要

年度	平成30年度決算	令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度決算	前年度比	令和4年度(予算)	
事業費(A) (円)	217,468	179,684	117,955	9,052	-108,903	176,000	
財源内訳	国庫支出金				0		
	県支出金				0		
	市債				0		
	その他特財	46,400	37,800	25,200	800	-24,400	20,000
	一般財源	171,068	141,884	92,755	8,252	-84,503	156,000
業務延べ時間 (時間)	146	128	76	8	-68		
人件費(B) (円)	658,000	586,000	327,000	35,000	-292,000	0	
トータルコスト(A+B)	875,468	765,684	444,955	44,052	-400,903	176,000	

主な支出項目	令和3年度決算	備考
講師謝金	3,090 円	
消耗品	5,962 円	
	円	
	円	

4 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか。開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか。 ・一時期、講座によっては参加者が固定化されていた ・令和3年度から講座開催場所を移転した。(リサイクルプラザからはつかいちエネルギーグリーンセンターへ) ・プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律の制定など、さらなるリサイクル意識が高まってきている。	② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 ・講座開催場所の移転に伴い、講座内容の一部見直しや周知方法の多様化を図った	③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか。 講座参加者からは、参加して良かったとの声を聞いている
---	--	---

5 事業評価(令和3年度決算の評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は市の政策体系に結びついているか。意図することが結果に結びついているか。)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	講座参加者となる市民が、周囲も含めてリサイクル意識を高め、ごみの減量化・資源化に取り組むことが期待できる。
	② 市が関与する妥当性(この事業は市が行わなければならないものか。税金を投入して行うべき事業か。住民や地域民間等に任せるとはできないか。)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	ごみ減量化のための啓発活動は、市が積極的に実施する必要がある。	
③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか。)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	広く市民にリサイクル講座に参加してもらうことで、リサイクル意識を高めてもらう。	
有効性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか。成果を向上させる有効な手段はないか。何が原因で成果が向上しないのか。)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	・新型コロナウイルス等に左右されない開催場所や方法の検討 ・市民へのさらなる周知方法の検討 ・多くの人に興味を持ってもらえる講座内容の検討
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は。目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか。)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	・体験による講座の実施により、体験に基づいたリサイクル意識の向上が見込まれる。	
⑥ 類似事業との統合や連携による改善余地(類似事業(市の事業に限らない)はないか。類似事業との統合や連携によって成果をより向上させることはできないか。)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	・より集まりやすい場所(市民センター等)での講座の開催 ・国・県・外郭団体や地元企業等との連携、共催	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか。)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	・事業費が講師謝金と商品費のみのため、削減は難しい。
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか。)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	・比較的準備に時間のかからない講座を行っており、削減は難しい。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか。受益者負担は公平・公正となっているか。)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	・参加対象は市民であり、広報等により募集も行っているため、参加機会の均等と参加費徴収により公平化を図っている。

6 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地有り	・令和3年度は新型コロナによる自粛期間があったとはいえ、講座の参加者が低迷しており、継続して実施するための方策が必要																							
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地有り																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 改善の余地有り																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地有り																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 改革改善案による成果・コストの期待効果																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 完了	今後の改革改善案 ・関心の高い講座の開催、市民センター、県、地元企業等との連携、参加しやすい時期(夏休み等)での開催の検討		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
・共催にあたっての相手方との調整		(廃止・休止、完了の場合は記入不要)																							